

活動報告



イベント



TVで紹介されました!

お歳暮シーズンがやってきました。たくさんのご注文を頂いており、おかげさまで忙しい日々ですが、利用者さんと切磋琢磨しながら頑張っています。最近はいこま TV で紹介されました。



尼崎観光案内所であま野菜販売に出店しました!

番屋惣兵衛商品を購入されるリピーターのお客様も増えて来られ、販売員として活躍されるご利用者も楽しく接客をされています。



福祉事業所フェスティバルにて販売を行いました!

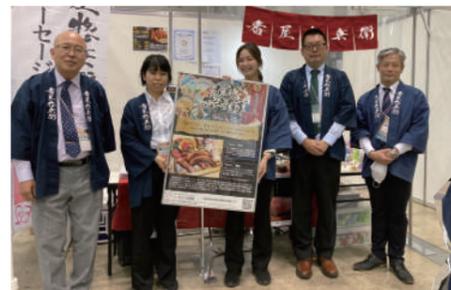
香水の絵柄の可愛さや柔らかい香りを嗅がれたお客様からご好評の声を頂いています。



番屋惣兵衛(ハム・ソーセージ)の販売に初めて参加しました!

利用者1名職員4名の計5名。始まりから終わりまで途切れることなく来客がありました。中には売り切れ商品もあり、大盛況でした。売り上げは10万円を超えることができました。来年はさらに売り上げを伸ばしたいですね。

全国障害者ワークフェアに参加しました!



全国の障害福祉サービス事業所や特例子会社、一般企業が参加され、障害者の就労や社会参加、新たな取り組みなど各団体の紹介がありました。福祉心話会では東京町田事業所と尼崎作業所で番屋惣兵衛とアクセサリーやエコバックの販売を行いました。様々な団体様と交流が持てた良い機会になりました。



法人の取り組み



東京町田事業所で就労継続支援B型支援員と尼崎作業所同じくB型支援員とで就労支援会議を行いました。町田では自主製作品を工夫して販売されており、尼崎では企業からの受託作業が多く取り組み方も様々でした。相互の支援員が良い刺激になり今後の利用者支援に貢献していきたいと考えております。

- 編集後記 -

新年あけましておめでとうございます。日頃より皆様にはご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

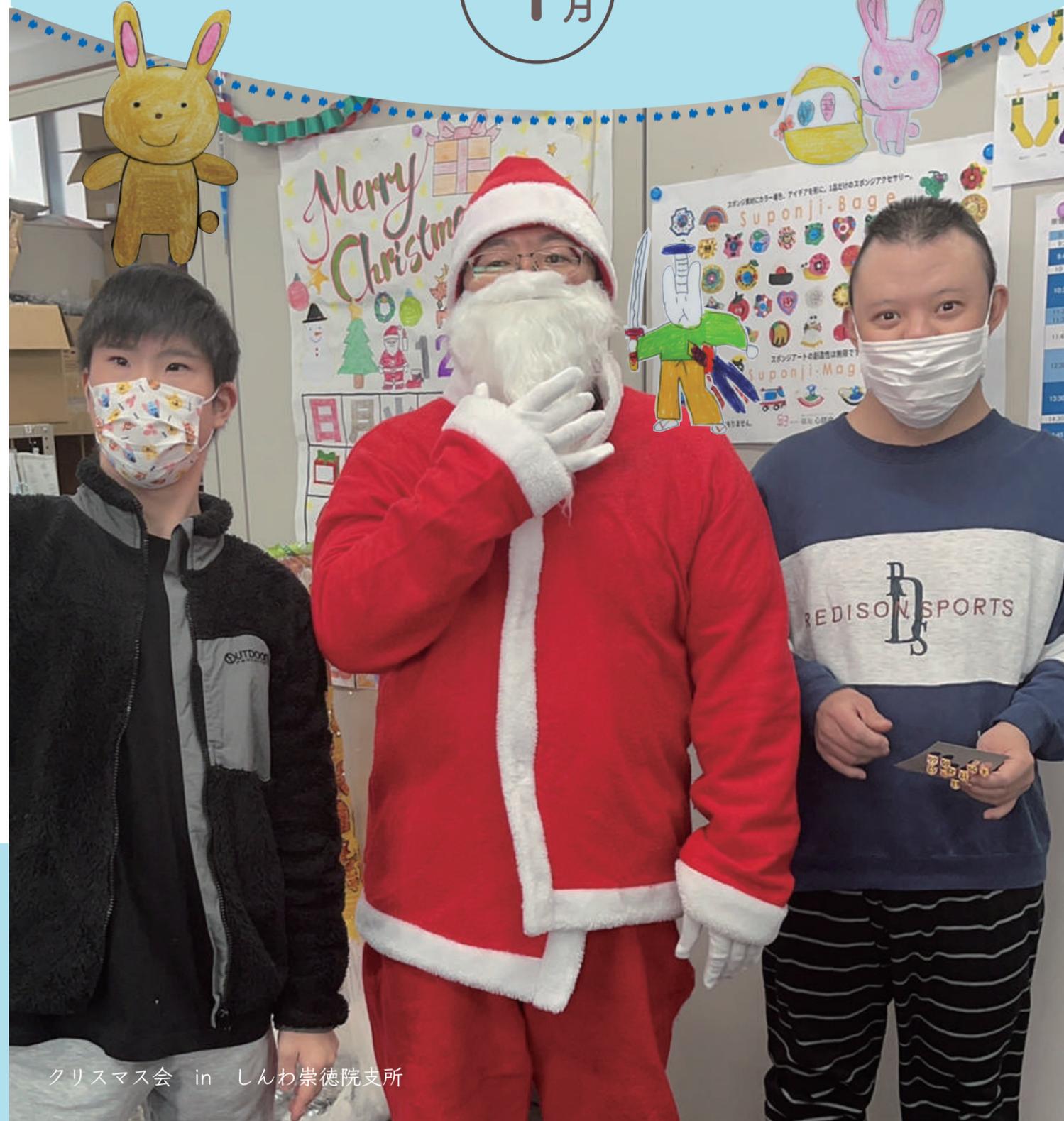
今年もご利用者様が楽しく過ごされている様子や法人での取り組みを皆様にお伝えできたらと考えております。何卒宜しくお願い致します。

しんわだより制作部 小森 宋



しんわだより

1月



クリスマス会 in しんわ崇徳院支所

各支所イベント紹介

12/22(木)にクリスマス特別食を行い、特別メニューを提供しました。感染予防に気をつけながら、クリスマスを楽しんでいただきました！



ピース!



出屋敷支所

活動では、サンタやトナカイのかぶり物をかぶってダンスなど楽しめました。昼食では特別メニューをみなさん美味しく召し上がり、「美味しかった!」との声をたくさんいただきました。また、この日はお菓子やジュースもあり、皆様喜ばれています。コロナ禍で大きな行事をすることが難しい状況ですが、少しでも季節行事を体感していただくことができたのではないのでしょうか。



西長洲工場



皆さまで昼食の準備をされ、豪華なお弁当に大変お弁当に大変喜ばれていました。美味しく召し上がり、お菓子とジュースをもらってとても楽しいクリスマスになりました。

尼崎作業所



普段のお弁当とは一味違ったメニューで皆様とても美味しく召し上がりました。特にエビフライは人気で皆さん美味しく召し上がられました。

武庫豊町支所



皆さま朝からクリスマスの特別お弁当をとても楽しみにされており、お弁当の中身を見て盛り上がりました。特にエビフライの大きさに驚きながらも嬉しそうに頬張っていました。クリスマスのお菓子セットを受け取った後に自分たちの好きなものが入っていないか袋の外から探すなどの姿も見られ、皆様で賑やかにされていました。

どれにしよう...

崇徳院支所

12/22のクリスマス会ではビンゴ大会を実施しました。サンタさんが景品を持って登場し、みなさん大盛り上がりでした。お菓子の詰め合わせや雑貨類の景品にも喜ばれており、楽しい時間を過ごされていました。



避難訓練



12月にグループホームで避難訓練を実施しました。夜間に火災が起きた際を想定した訓練を行いました。皆様「押さない、走らない、喋らない、戻らない」を意識されていました。ご利用者様、世話人の皆様にもご協力いただき、皆様無事に避難することができました。

新年のご挨拶

皆さま、あけましておめでとうございます。ご利用者、ご関係者、職員の皆さまには、昨年も施設の運営にご支援やご協力をして頂いて本当にありがとうございます。

これまで福祉施設は、社会制度や公費で運営を支えられる事が一般的な考えでした。しかしながら、近年は、少子高齢化やコロナ禍による財政状況も逼迫しており、今後の予算拡充を期待することは難しい時代になっています。地域で困っている課題を柔軟に解決出来るよう法人の「自助」努力やご利用者、職員、地域住民とが結びつき、支え合う「互助」の力を活用した公費に依存しない運営を福祉施設に大きく求められています。

最近、この「自助」と「互助」の視点を学ばされている場所があります。神戸にある銭湯の湊山温泉です。自宅から近い事も有り、昨年、よく疲れが溜まると通っていました。創業131年の老舗銭湯ですが、利用者減で一度閉鎖・復活した経緯も有って、頻りにユニークな事に取り組んでいます。アヒルが浴槽いっぱい浮かんでいたり、等身大サンタクロースが入口にいたり、とにかく来た人を貪欲に楽しませたいという「自助」努力がとても気持ち良いです。辺鄙な場所に有りますが、独特な趣向が好きな常連やリピーターを集めています。

けれど、それ以上に私が驚かされたのは、銭湯の利用者同士で自然と「互助」の文化が育まれている事です。例えば、お互いで背中を洗いあったり、車椅子のお爺さんを居合わせた二人で浴槽に運んでいたり、初めて利用する外国人に風呂の入り方を教えていたり、中には風呂のゴミを拾って片付けている人までいます。どれもが、街中のスーパー銭湯ではあまり見られない光景です。このような「自助」や「互助」の場面が自然と感ぜられる事にいつも心を癒されて、また来たいと思い、再訪をする。同時に、とても長い年月や地域理解が有って、形成された場所であることもよく伝わります。

私たちもご利用者・施設が地域に溶け込んで、地域で欠かせない存在や文化となるには、長い年月がかかります。今年も日々の実践を積み重ねていきたいと考えています。

未熟な点も有るかと思いますが、今年もお導きとご支援のほど宜しくお願いします。

理事長 三澤 泰務

